



セミの抜け殻

「地獄」と聞くとちよつとびっくりしてしまいかもしれませんが、熱くもないし煙も出ていません。全然怖くない美しい池です。

地元の不思議な伝説によると、ある時から水がこんこんと湧き出して池ができたということ。箱根外輪山が育んだ湧き水からなるこの池は、地元の方々が手入れを欠かさずいつも整備されています。

真夏には鳥居の脇にあるサルスベリが紅色に咲いて私たちの目を、鳥の声やセミの声が耳を楽しませてくれることでしょう。

底まで見通せる澄んだ水をたたえた池は涼しげで、心が落ち着くオアシスです。

せいざえもんじごくいけ
清左衛門地獄池



今、ふれあいの村では...

梅雨明けが発表され、日差しもいちだんと強く感じます。木々の葉は色濃くなり、セミもたくさん鳴き始めました。

◆日当たりのよい場所です。花は右巻き、左巻き両方あり、らせんの回転数は4・5回ほど。稀に白い花をつけたネジバナもあるそうです。

◆山荘に続く通路の一部が真っ赤に染まっている場所がありました。ヤマモモの果実です。落ちたヤマモモは熟し、辺りに甘酸っぱい匂いが漂っています。ジャムや果実酒などにも加工されますが、生食でも食べることが出来ます。樹上では鳥が果実をついばみ、地上では小動物や昆虫などが食べた形跡があり、人気の果実のようです。



ネジバナ



ヤマモモ



ナガチャコガネ



クロアゲハ



ミヤマカワトンボ



ハナイカダ

ハゴロモの仲間の幼虫

草の茎に白い綿のようなものが付いているのを見たことないかな。それはコケかなあと思っていた。でもね、じっと見ていたら動いたんだ。虫眼鏡でのぞいてみたら足が動いて茎の裏側に回って行って見えなくなった。そっと触ったらぴよんと跳ねていなくなっちゃった。

写真を載せるからみんなも観てみてね。お尻に羽みたいなのが付いている種類もいたよ。なんだか楽しくなってきたね。



アオバハゴロモ幼虫



ベッコウハゴロモ幼虫

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



アオバハゴロモ



ヤマユリ



ヤマハギ



ベッコウハゴロモ

この記事を書いている頃は駐車場付近で大きな白い花が見頃を迎えています。ヤマユリです。

日当たりの良い傾斜地で見かけることが多く、ふれあいの村へと続く道路脇でも気品のあるヤマユリの花は一目で分かります。

神奈川県を県花としても知られていますね。ちなみに県の木はイチョウ木の鳥はカモメです。

◆同じく駐車場付近には赤紫色の小さな花を咲かせたヤマハギも見ることができます。

6月の中旬頃から咲き始め、10月下旬頃まで花を楽しむことができます。「万葉集」で最も多く詠まれ、詠んだ歌は140首を超えているとか。

日本人に親しまれている植物の一つといえます。

花言葉は「思案」「内気」「柔軟な精神」で、ハギとしては宮城県の県花となっています。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「もりっこ2デイズ」のご案内

初めてのお泊りキャンプでもOK！自然の中で、幼児に合わせた自然散策やたき火、野外炊事などにより、子どもたちがどんな発見をし、どんなことを思うのか、お子さんの成長をサポートいたします！

実施日) 令和7年9月27日(土)～28日(日)【1泊2日】
会場) 足柄ふれあいの村
対象) 幼児(3歳以上～未就学児)とその保護者
定員) 25人
参加費) 中学生以上7,200円/3歳以上～未就学児5,400円
申込期間) 令和7年7月5日(土)～令和7年8月22日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日：9月7日(日)

10:00～12:00《自然観察会》秋の虫とふれあおう

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話：0465-72-2010 FAX：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

URL：http://www.ashigara-fureai.com/